

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請(吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用)に係る面談
2. 日時：令和2年9月10日(木) 16時00分～17時05分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
知見主任安全審査官、市森係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所 担当7名(テレビ会議システムによる出席)

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請(吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用)について、資料に基づき以下の説明があった。
  - 高性能多核種除去設備(以下、「高性能ALPS」という。)の使用済吸着塔を第二セシウム吸着装置(以下「SARRY」という。)及び第三セシウム吸着装置(以下「SARRYⅡ」という。)で再利用することにより、高性能ALPSの使用済吸着塔の数が減少し、SARRY/SARRYⅡの使用済吸着塔の数が増加することになるが、これにより新規に製作するSARRY/SARRYⅡ用の吸着塔容器及び吸着材の数を抑制できること。
  - サブドレン使用済吸着塔の内部の吸着材を高性能ALPSの吸着塔容器に詰め替え、SARRY及びSARRYⅡで再利用することにより、サブドレン使用済吸着材の発生量が減少し、SARRY/SARRYⅡの使用済吸着塔の数が増加することになるが、これにより新規に製作するSARRY/SARRYⅡの吸着材及びサブドレン吸着塔容器の数を抑制できること。
  - 再利用に当たっては、再利用と通常使用の使用バランスを取り、SARRY/SARRYⅡから発生する使用済吸着塔数が想定する年間発生量を超えないよう運用すること。
  
- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認した。

#### 6. その他

資料：第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置に使用する吸着塔の種類追加に関する補足説明資料